

ぐずついたこの時期、蒸し暑かったり肌寒かったりと気温もめまぐるしく変わります。夏の空が待ち遠しいですね！

株式会社東京トラスト 

【日本の夏 朝顔のはなし】

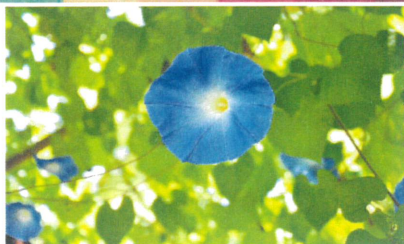
夏の朝に大きく咲く朝顔は清々しいものですね。

小学校の課題で朝顔を栽培した方も多いはず。

朝顔の起源は中南米と言われ、日本へは奈良時代に

遣唐使が種子を葉として持ち帰ったものが初めとされています。中国では「牽牛子（けんごし）」と呼ばれ、下剤や利尿剤など主に薬として活用されていました。

江戸時代には観賞用として大きな朝顔ブームが起こりました。初めは文化3年（1806年）の文化の大火跡の空き地に、植木職人が色々な朝顔を植えたことがきっかけでした。珍しいものは高く売れたため、朝顔栽培は下級武士の内職としても広まりました。嘉永・安政期の第2次ブームでは色や形がより複雑化した「変化朝顔」が珍重され、品評会の開催や朝顔図譜の出版が盛んになりました。変化朝顔とは、八重咲きや花弁が細かく切れるなど、朝顔本来の丸い花型とは大きく変化したもので、江戸・上方を問わず大流行しました。残念ながら第二次大戦で多くの変化朝顔が失われましたが、戦後から現在まで、新たな系統の変化朝顔を育てるため研究がおこなわれています。多様な遺伝子変異を持つ朝顔は遺伝子学および生理学の研究材料としても用いられているそうです。朝顔栽培の名手だった植木職人・成田屋留次郎が入谷に在住していたことから、入谷は朝顔の街としてにぎわい、現在も毎年7月に入谷鬼子母神朝顔市が開催されています。



不動産ニュース

全国の空き家は846万戸 空き家率13.6%に 総務省調査



総務省は2018年の「住宅・土地統計調査」の速報値をまとめた。全国の総住宅数は6242万戸で、このうち空き家は846万戸であった。総住宅数に占める空き家の割合である「空き家率」は13.6%で過去最高を記録した。空き家の内訳をみると「賃貸用」が431万戸、「売却用」が29万戸、「二次的住宅（別荘など普段は人が住んでいない住宅）」が38万戸。近年問題となっている、住み手が見つからないまま放置される空き家を含む「その他の住宅」は347万戸で、2013年の調査から9.1%増となった。

TRA 全国不動産協会ニュースより

* 荻窪グルメ*

酔い処 古川家



6/27に開店したての「古川家」さん。

母娘でつくる優しい味の家庭料理と、レアな日本酒が楽しめます。

看板メニューは豚汁！人気のため品切れになる日もあるとか。

旬の食材をつかった日替わりメニューも楽しみの一つです。

居心地がよく、気持ちよく飲めるいいお店です(^^)

杉並区上荻1-9-1 慶仁ビルB1F

荻窪ゆげン隣、たこ焼屋さん横の階段を下ります。



看板メニューの古川家豚汁